

今後の推進策（事務局原案）

1 環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた4つの取り組みの柱

人材の育成

情報の共有・活用

プログラムの作成

機会づくり・場づくり

人材の育成について

環境教育リーダーの追加養成（今年度事業）

環境に関する各種講座・イベント等の参加によるレベルアップ〔 関係〕

情報の共有・活用について

ホームページによる情報提供の強化

札幌市環境保全のページ

環境教育関連施策及び事業、環境教育プログラム、総合的環境副教材などの情報提供

【今後の方向性】

・環境教育関連事業、環境教育プログラム 実践例の紹介

・総合的環境副教材 活用するための「手引き」の充実

札幌市環境プラザホームページ

イベント情報、環境保全アドバイザー・環境教育リーダー制度、環境活動を行う団体・企業などの情報提供

【今後の方向性】

・イベント情報 プラザ事業の紹介、リンクの充実などによる情報強化

・環境保全アドバイザー・環境教育リーダー 実践例の紹介

・環境活動を行う団体・企業などの情報 情報の充実（リンク可）

情報交換ができる場を設定して、情報の共有を進める〔 関係〕

プログラムの作成について

「作成」から「周知・有効活用」の段階へ

環境教育プログラム・総合的環境副教材のさらなる周知

【課題】家庭・地域・職場への環境教育プログラムの周知

環境教育プログラム・総合的環境副教材などの有効活用
アンケート調査の実施（活用状況や内容などについて）
学校を対象にアンケート調査を実施（調査票はホームページでも公開）
寄せられた意見を参考に内容や使い勝手を良くしていく
授業研究の実施
小学校においてプログラムに基づく授業を実施
学校におけるエコライフレポートの実践
取り組み校の増加を目指す

機会づくり・場づくりについて

既存事業の推進
校外学習用バス貸出、クリック募金、環境プラザにおける総合学習支援、
環境教育施設バスツアー、環境未来カップなど
情報交換ができる機会・場を設定

優良事例の発表と意見交換を行う

【取り組み例】

環境教育リーダーの派遣事例発表会（昨年度より実施）

環境コンテスト（今年度から開催予定）

施設連携の強化

中心となる施設：環境プラザ

2 評価と検証

達成目標及び環境指標の達成状況を確認する

本委員会において取り組み状況を報告するとともに評価を行う